（別紙様式１－Ａ）

山梨県若手研究者奨励事業　応募申請書

山梨県知事 殿

山梨県若手研究者奨励事業費補助金を受給するため

**写真貼付**

３か月以内に撮影、

無帽、無背景のもの

(裏面に氏名を記入)

４.５cm×３.５cm

次のとおり出願します。

令和　　年　　月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 |  |
| 職名・氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　㊞ |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※氏名は自筆

|  |  |
| --- | --- |
| 応募分野 | □自然科学分野　　□人文・社会科学分野 |
| 交付申請額 | 円　　 |

|  |  |
| --- | --- |
| 研究分野（注１） |  |
| 研究テーマ |  |

|  |  |
| --- | --- |
| ふりがな氏名 |  |
| 生年月日 | 昭和・平成　　　年　　　月　　　日生（満　　　歳）（注２） |
| 現住所 | 〒 | TEL: |
| 携帯: |
| E-mail: |
| 所属機関名称 |  |
| 所属機関所在地 | 〒 | TEL： |
| FAX： |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 経歴 | 出身地 | 都･道･府･県 | 市･町･村 |
| 年　月 | 経　歴（高等学校以降） |
| . |  |
| . |  |
| . |  |
| . |  |
| . |  |
| . |  |

（注１）別表「研究分野一覧」参照

（注２）令和６年４月１日現在の満年齢を記入してください。

（別紙様式１－Ｂ）

研究業績（注３・４）

|  |
| --- |
|  |

（注３）これまでに発表した論文、著書、産業財産権、招来講演、受賞歴等について記入してください。発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年について記入してください。受賞歴の場合、年度・主催団体名を記入してください。

（注４）２枚以内で作成してください。

（別紙様式１－Ｃ）

１　研究費用

（１）内訳及び経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位　円）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 費目 | 支払予定額 | 補助対象経費の内訳・積算根拠等（注５） |
| 補助対象経費 | 備品費 | 円 |  |
| 消耗品費 | 円 |
| 旅費 | 円 |
| 人件費・謝金 | 円 |
| その他（　　　　　） | 円 |
| 計 | 円 |
| 補助対象外経費 |  | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
|  | 円 |
| 計 | 円 |
| 合　　計 | 円 |

（２）収支予算見込　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位　円）

|  |  |
| --- | --- |
| 収　入 | 支　出 |
| 補助金 | 他の補助金等 | 所属機関研究費 | 自己負担額 | 計 |
| 円 | 円 | 円 | 円 | 円 | 円 |

（３）研究テーマに関する他の補助金等の活用の有無

□ なし　　　　　　□ 申請中　　　　　□ 決定済及び交付中

　　申請中、決定済及び交付中の場合は以下を記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 支援機関・団体名 |  |
| 補助金等名 |  |
| 補助対象経費 |  |
| 受給（予定）金額 | 円　 |

（注５）補助対象経費の内訳・積算根拠を記入してください。補助対象経費の各費目の予定額が全体の研究費用額の６０％を超える場合は、当該研究経費の必要性（内訳等）についても内訳・算出根拠等の欄に記入してください。ＰＣ等の汎用性の高い物品は、容易に研究以外の用途に使用できるので、研究に必要であることを第三者が客観的に判断できるよう購入目的を具体的に記述してください。

（別紙様式１－Ｄ）

２　研究計画

（１）研究概要(ニーズ・目的・方法・手段・新規性・独自性・期待される成果及び実社会への貢献等)（注６・７）

|  |
| --- |
|  |

（注６）５枚以内で作成してください。

（注７）複数年度にまたがる研究については、研究全体の計画と当該年度の計画との関係が分かるように記入してください。

（別紙様式１－Ｅ）

（２）地域社会への貢献について

「山梨県総合計画」（令和６年３月３１日時点のもの）や「部門計画」の中から貴殿の研究が該当（関連）する施策・事業を挙げ、貴殿の研究が該当する施策・事業の推進にどのように生かされるか記述してください。

|  |
| --- |
| ① 関連項目② ①の項目に関連して、研究がどのように生かされるか |

（別紙様式１－Ｆ）

（３）研究計画を実施するにあたっての準備状況及び研究成果を発信する方法（注８）

|  |
| --- |
|  |

（４）研究協力者（注９）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　名 | 年齢 | 所属・職名 | 研究分野 | 本研究の中での役割 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（注８）研究を実施するために使用する研究施設・設備・研究資料等、現在の研究環境の状況及び本研究の研究成果を県民に発信する方法について記入してください。

（注９）研究協力者は、技術者や知財専門家等の研究支援を行う者や大学院生等で、この補助金の補助対象経費である人件費・謝金を受け取ることが可能な研究者をいいます。

（別紙様式１－Ｇ）

（５）研究のスケジュール（注10）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時　　期 | 研究内容 | 説　　明 |
|  |  |  |

（注10）複数年度にまたがる研究については、研究全体のスケジュールと当該年度のスケジュールが分かるように記入してください。